

なんでもの森に出発！



No.1



2025年 りす組 生活発表会

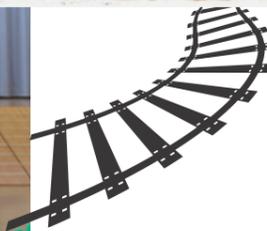
☆じゃんけんを使って色々な遊びをしてきた子ども達



1学期からこれまで子どもたちは「宝探しゲーム」や「しっぽ取り」など“ルールのある遊び”を楽しんできました。中でもじゃんけんを使ったゲームは子ども達から特に人気で、1学期から様々なじゃんけん遊びをしてきました。そんなじゃんけん遊びを通して育ってきた子ども達の姿をいくつかのゲームとともに紹介したいと思います。

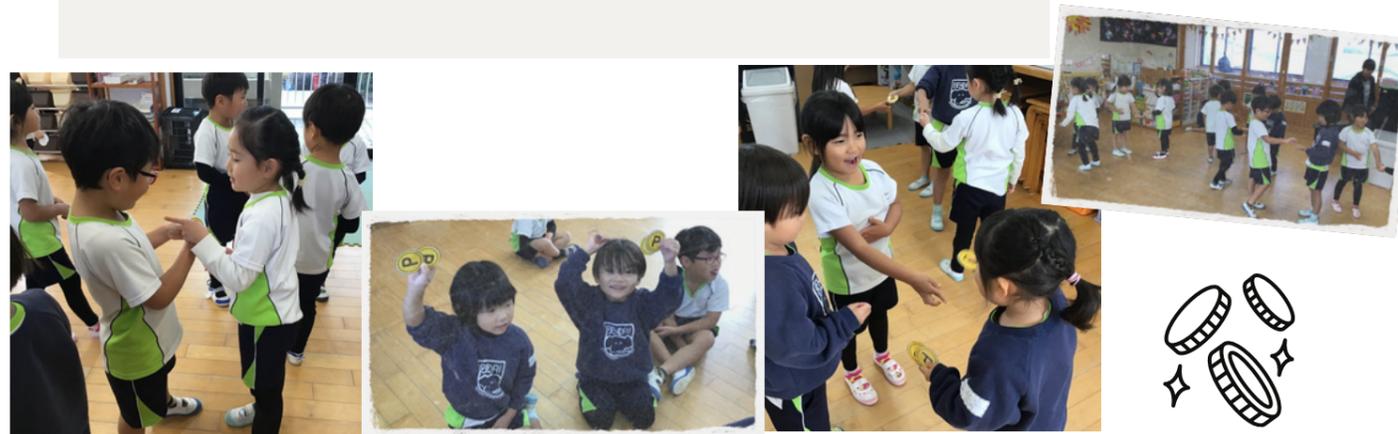
1 じゃんけん列車

- (1) 出会った友達とじゃんけんをする
- (2) じゃんけんに勝った人の後ろに繋がって列車になる
- (3) じゃんけんを繰り返し、最終的には1つの長い列車ができあがる



2 コインじゃんけん

- (1) 1人2枚ずつコインを持ってゲームを始める
- (2) 出会った友達とじゃんけんをする
- (3) 勝った人が相手のコインを1枚もらう
- (4) 負けが続いてコインが0枚になってもゲームに参加して良い！
- (5) 時間が来た時にたくさんコインを持っていた人が勝ち



3 大きくなるじゃんけん

じゃんけんの勝ち負けに合わせて体の動きを変えて楽しむ遊び
【赤ちゃん→幼稚園児→大人→おじいちゃん・おばあちゃん】

- (1) 全員ハイハイの状態（赤ちゃん）でスタートする
- (2) 出会った友達とじゃんけんする
- (3) 勝つと1段階成長する（負けたら現状のまま）
- (4) おじいちゃん・おばあちゃんまで成長できた人は抜けていく



赤ちゃん（四つ這い）

幼稚園児（膝立ち）

大人（立つ）

初めの頃は、じゃんけんに負けると悔しくて涙が出てしまったり、負けた時点で「もういい・・・」「もうやらない・・・」とゲームを最後までやり抜くことを諦めたりする姿も見られました。もちろん、負けたときに悔しい気持ちになるのは誰も同じことだし、悪いことでもないこと。じゃんけんの結果が出たときには「負けてもまたできるから大丈夫だよ」「悔しい気持ちもあるけどみんなで楽しく遊ぼうね」と繰り返し伝えていくうちに、ゲーム中に少しずつ子ども達自身で気持ちを切り替えられるようになってきました。

じゃんけん列車では負けると後列に並ぶのですが、先頭の子がじゃんけんに勝つとまるで自分のことのように喜んで次の対戦相手とのじゃんけんを心待ちにしています。コインじゃんけんでは、コインがなくなってもまだまだ参加OK！「0枚から1枚にするぞ！」と意気込んだり「私0枚～！」とコインがまったくなくなってしまったことすら笑い合ったりしながら、自分が勝ったか・負けたかだけでなくゲームそのものを楽しめるようになったように感じます。勝つことだけを楽しみにしていた子ども達が次第にみんなで遊ぶことそのものを楽しめるよう変化してきており、そんな子ども達の姿から大きな成長を感じています。

また、手だけでなく足や体全体、口を使ってじゃんけんをするなど、子ども達の発想から広がる“オリジナルじゃんけん”も生まれました。「こんなポーズにしよう！」「ちょきはこのポーズがいいよ！」などとみんなで一緒に考え、決めたルールで楽しみながら遊ぶ様子に、遊びを通してのびのびと表現する力や発想の豊かさを感じました。

4 オリジナルじゃんけん



聞いてみたい！仕事のひみつ！

～消防士さんへの憧れと探究心が育った瞬間～

★消防車見学

目の前に止まっていた大きな消防車を見て「大きい！」「カッコいい！」と子ども達は大喜び。ホースや、はしごなど普段は身近で見ることのない用具にも興味津々で「これは何？」「何に使うの？」と消防士さんに直接質問していました。特別な体験を通して子ども達の関心や学びが広がる1日となりました。



- ～子ども達が手紙に書いたこと～
- ・どうして消防士さんは筋肉がもりもりなんですか？
 - ・どうして消防士の制服はオレンジ色なんですか？
 - ・消防車の中には何が入っているの？
 - ・次は私たちが消防署に行きたいな
 - ・消防士になりたいんだけどどうやったらなれますか？
 - ・消防車の後ろにあるハンガーが気になる、故障した車を運ぶの？
 - ・また幼稚園に来てね
 - ・幼稚園に来てくれてありがとう！

★もっと聞きたいことがあった…

消防車見学をした後、みんなで火事の時の避難の仕方や消防士さんや消防車の働きについて話をしました。すると子ども達から「どうして消防士さんはみんな筋肉もりもりだったんだろう」「もっと聞きたいことがあった」など新しい疑問が上がりました。そこで消防士さんに手紙を書いてみよう！ということになりそれぞれが気になることを手紙に書くことにしました。また文字が書けない子も見本を見ながらなぞったり、友達や保育者に聞いたりしながら1字1字一生懸命書いていました。見学での発見が「もっと知りたい」という気持ちになり、自分の言葉で伝えようとする姿に子ども達の成長を感じました。



☆文字への興味

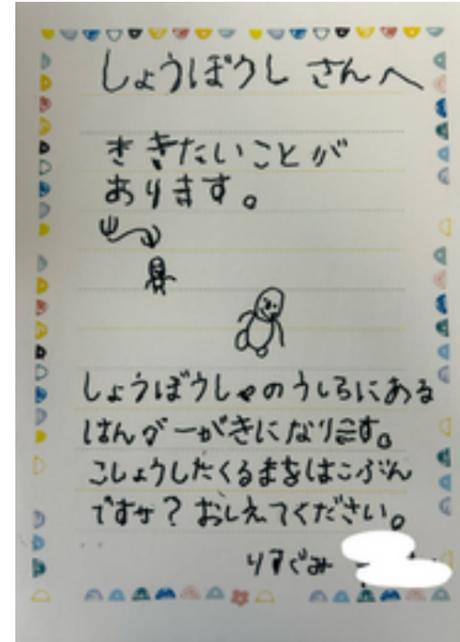
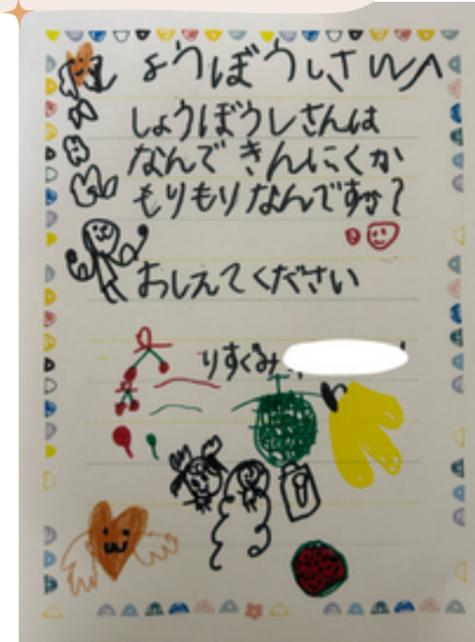


1学期からパズルやクラス内の名前表記を見るなどしてひらがなに興味を示していた子ども達。2学期には「気になったことを手紙に書いて消防士さんに聞いてみたい！」という姿も見られ、自分の思いを“文字”で伝える経験をしました。なぞりながら書く子、見本を見て真似て書く子などそれぞれのペースで取り組む姿が印象的でした。

この活動をきっかけにさらに文字への興味が広がりクラスでも文字を取り入れた遊びを楽しむようになりました。ひらがなの形のおもしろさに気づき「この字おもしろい形だね！」「へ」と「く」は似てるな～！」などと話しながら楽しむ姿も見られました。また、みんなで力を合わせて5文字のカードを運ぶ遊びでは、言葉を読んだり並べたりしながら協力する姿があり文字を通して友達と関わる楽しさも広がっています。



実際に子ども達が書いた手紙



☆話し合い活動を通して



壁面作りや歌の振り付けなど、園生活の中で子ども達同士で話し合うことを大切にしながら過ごしてきました。少しずつ「私はこうしたい！」と自分の思いを伝えられるようになってきたり、自分の考えだけでなく友だちの考えも大切にしたりしながら、同じ目標に向かって1つの形を作り上げていく経験は遊びや日常生活にも広がりを見せています。片付けのときには声を掛け合って終わらせたり、困っている友だちにそっと手を貸したりと自然と協力し合う姿も増えてきました。“友だちがいるからこそできたこと”や“みんなで支え合って進められたこと”が子ども達自身の自信へと繋がっているように思います。これまでの活動は、まさに子ども達同士のアイデアと協力で生まれてきたものです。その中で育ってきた思いやりや協力の気持ちを、これからも大切にしていきたいと思っています。



☆発表会当日に向けて



いよいよ発表会が近づいてきました。当日は、緊張したりいつもと違う雰囲気にとドキドキしたりする子もいるかもしれませんが、これまでクラスでは自分の意見を出し合ったり、友だちの考えに「いいね！」と応えたりしながらみんなで話し合いを重ねてきました。遊びの中でも発表会活動でも、子どもたちが笑顔で楽しんで取り組む姿がたくさん見られています。本番では、いつもの姿が出せないことがあるかもしれませんが、これまで積み重ねてきた時間や気持ちはしっかり子どもたちの中に育っています。当日は温かく見守っていただけたら嬉しいです。

